

## 中川児童館の指定管理者の指定について

### 1 施設の名称

中川児童館（墨田区立花五丁目18番9号）

### 2 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）

### 3 指定管理者とする団体

#### (1) 名称

社会福祉法人厚生館

#### (2) 所在地

東京都墨田区立花五丁目21番3号

#### (3) 代表者氏名

理事長 中川 厚子

#### (4) 沿革

昭和12年 厚生館託児所設立

昭和27年5月 法人設立

#### (5) 同種事業の実績（自治体からの受託運営等）

本区での実績

昭和30年度～ 厚生館保育園

平成16年度～ 中川児童館指定管理者、墨田区あおやぎ保育園指定管理者

### 4 選定経過及び選定理由

#### (1) 募集内容

ア 募集期間 令和5年7月21日から令和5年8月25日まで

イ 周知方法 区のお知らせ及び区のホームページに掲載

ウ 申請者数 1者

#### (2) 選定経過

墨田区指定管理者選定委員会において、主管部検討部会での審査を経た団体について、申請書類等に基づき、評価項目である①利用者サービスの向上、②効率的・効果的な施設の運営、③事業計画の遂行能力の3項目に関する審査を行った。

#### (3) 選定理由

審査の結果、選定団体は、評価項目の評価の合計点が設定した水準を超えたことから、中川児童館の設置目的を効果的・効率的に実現することが期待できるため選定した。

### 5 事業計画の要点

#### (1) 管理運営の方針

中川児童館の設置目的及び指定管理者制度の趣旨を踏まえ、以下の3つの運営方針を定めている。

①利用者の意見尊重、最善の利益の優先

②地域の子育て支援拠点となる運営

③すべての子どもを対象とした健全育成

#### (2) 主な提案内容

ア 利用者サービスの向上に関する提案

(ア) 利用者が平等に利用できる環境を整えるため、イベント情報を児童館前の巨

大看板に掲示することやホームページへの掲載、近隣町会掲示板の活用等、地域の誰もが閲覧できるよう配慮を行う。

- (イ) 年齢層に合わせた事業展開を図り、児童が主体的に関われる活動などの支援を行う。また、地域の子育て支援拠点として、近隣の企業等と連携した子育て支援講座の実施や、本法人が運営する母子生活支援施設や保育園と連携した相談援助を行う。
- (ウ) 学童クラブを「社会」とつながる場として運営するとともに、利用する児童の意見を反映し、より多くの児童が楽しめる企画運営を行う。
- (エ) 児童館運営協議会や意見箱等で聴取した意見を館運営に反映する。

#### イ 効率的・効果的な施設の運営に関する提案

- (ア) 指定管理料（提案額）：83,290,280円
- (イ) 月ごとの光熱水費をエコマネージャーが中心となって比較検討し、経費削減に努める。
- (ウ) 利用促進策として、移動児童館や地域組織「中川つくし会」との共催事業等を実施し、地域に広く児童館を周知する。
- (エ) 墨田区社会福祉協議会や高齢者みまもり相談室と連携した「ふれあいサロン」を月1回程度開催し、乳幼児親子と地域の高齢者が世代間交流を図る場を提供する。

#### ウ 事業計画の遂行能力に関する提案

- (ア) 子ども・子育て関連施設の従事経験が豊富な館長（経験年数19年）を配置する。
- (イ) 施設内研修を年4回程度実施するほか、都主催研修や本法人内部研修等に職員が参加し、職員のスキルアップに取り組む。
- (ウ) 本法人が運営する母子生活支援施設や保育園との協力・応援体制を構築している。

## 審査結果

1 2名の委員が評価し、その合計点により審査を行った。

評価項目 (配点)	得点
	社会福祉法人 厚生館
1 利用者サービスの向上 (44点×12人=528点)	385点
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか (4点×12人=48点)	36点
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか (24点×12人=288点)	201点
ア 小学生、中学生、高校生等のさまざまな年齢層に合わせた事業提案が充実しているか (8点×12人=96点)	(61点)
イ 学童クラブの指導計画等が、健全育成の視点から適切なものであるか (8点×12人=96点)	(70点)
ウ 地域子育て支援拠点事業及び利用者支援事業の内容が妥当であるか (8点×12人=96点)	(70点)
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能か (4点×12人=48点)	39点
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか (4点×12人=48点)	37点
(5) 配慮を必要とする子どもへの対応(体制、研修、職員育成等)が考えられているか (4点×12人=48点)	37点
(6) 待機児童や小学校高学年に対する学童クラブを補完する事業の提案が充実しているか (4点×12人=48点)	35点
2 効率的・効果的な施設の運営 (32点×12人=384点)	267点
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか (4点×12人=48点)	35点
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか (4点×12人=48点)	34点
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか (8点×12人=96点)	58点
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか (4点×12人=48点)	35点
(5) 利用者の増加策や施設稼働率(利用率)向上への取組は効果的か (8点×12人=96点)	61点
(6) 地域住民や保護者との交流・連携を促進する取組の内容は充実しているか (4点×12人=48点)	44点
3 事業計画の遂行能力 (24点×12人=288点)	213点
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか (4点×12人=48点)	38点
(2) 職員構成・職員数及び組織の管理・運営体制は適切か (4点×12人=48点)	36点
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か (4点×12人=48点)	36点

(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか (4点×12人=48点)	33点
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か (4点×12人=48点)	35点
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無 (4点×12人=48点)	35点
合計 (100点×12人=1,200点)	865点

中川児童館指定管理者 申請者提案概要

項目	社会福祉法人厚生館
1 利用者サービスの向上	
(1) 利用者にとって平等に利用できる環境が整えられているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国籍や障害の有無に関係なく誰でも参加できるプログラムの実施。</li> <li>・イベントの周知について、児童館前に 100 cm×200 cmの巨大看板を掲示、ホームページに掲載、近隣町会掲示板で掲示することで、地域の利用者が誰でも閲覧できるようにする。</li> <li>・人気のプログラムについて、抽選制や未参加の方を優先する等により参加回数の調整を行う。</li> </ul>
(2) 施設の設置目的を達成するための事業計画となっているか	
ア 小学生、中学生、高校生等のさまざまな年齢層に合わせた事業提案が充実しているか	<p><b>【小学生事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同年齢交流、異年齢交流、地域交流を実施し、子どもたちに貴重な体験の場を提供する。</li> <li>・年間を前期、中期、後期に分け、子どもの発達に合わせた遊びを展開し、長期的な段階を踏みながら自発的、自主的な遊びを支援する。</li> <li>・児童館行事の企画・運営を子どもたち自身が進めることで、考える力を身につけるよう支援する。</li> </ul> <p><b>【中高生事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館行事や地域行事を通じて、ボランティア活動への取り組みを支援する。</li> <li>・定期的に学習の機会を設定し、学習習慣が身につくよう支援する。</li> <li>・定期的な話し合いの場を設定し、中高生の意見を聴取し、自身が主体的に関われるよう支援する。</li> </ul>
イ 学童クラブの指導計画等が、健全育成の視点から適切なものであるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども、保護者、学校、ボランティア等、多くの人たち（社会）とつながる場所として運営する。</li> <li>・友人や大人と、遊びと交流をしながら自発的に成長していくよう環境を整え、時には促し、健やかに育つよう共に過ごす。</li> <li>・定期的に親子イベントを開催し、子ども・保護者・職員の交流の場を設ける。</li> <li>・意見箱を設置することで、子どもの意見（補食（おやつ）や遊びの要望の他、体を動かすことが苦手等のマイナス意見）に対応することで、多くの子どもが楽しめる企画運営を行う。</li> <li>・保護者が安心して子どもを預けられるよう、言葉だけでなく、写真を活用し育成中の様子を伝える。また、子ども達が困っていることを共有し、保護者と信頼関係を築くよう最善の努力をする。</li> <li>・防犯防災、緊急時対応として毎月訓練を行う。また、消防署から指導員を招き救命技能を習得する。</li> </ul>
ウ 地域子育て支援拠点事業及び利用者支援事業の内容が妥当であるか	<p><b>【地域子育て支援拠点事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達状況や保護者のニーズに合わせた事業実施により、活動の中で子どもの想像力や集中力を育てる。</li> <li>・当該法人の運営する保育園、母子生活支援施設と連携する他、近隣の薬局、企業等にも子育て支援講座を依頼する。</li> <li>・父親の参加を促すため、男性職員が担当する講座を設ける。</li> </ul> <p><b>【利用者支援事業】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人が運営する保育園、母子生活支援施設と連携した相談援助を行う。</li> </ul>

項目	社会福祉法人厚生館
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都城東地区地域福祉施設協議会の企画会議や研修、及び都内の児童館長同士が情報交換する「繋がろう児童館」に参加し情報収集し、子育て関連情報を提供する。</li> </ul>
(3) 利用者サービスの向上につながる独自の提案があり、実現が可能なか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽、ダンス活動について、専門講師を招くことで質の充実を図る。</li> <li>・学童クラブ児童について、冬至の前後2週間を中心に自宅周辺までの送りを行う。</li> </ul>
(4) 利用者の要望・意見等を聴くための手段と業務改善の取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館運営協議会にて地域から出る意見、要望を基に事業実施する等、地域要望に応じていく。</li> <li>・見やすく、手に取りやすい場所(2か所)に意見箱を設置する。</li> <li>・行事の大小に関わらず開催後にアンケートを取り次回以降に生かす。</li> <li>・各行事における子どもスタッフ(中高生含む)からも子どもの意見を聴取し反映する。</li> </ul>
(5) 配慮を必要とする子どもへの対応(体制、研修、職員育成等)が考えられているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい配慮が必要な子どもへは個別対応する。</li> <li>・外国籍の保護者に対しては、学童クラブのお便りにフリガナを振り、分かりにくい表現は電話等ではなく直接説明する。</li> </ul>
(6) 待機児童や小学校高学年に対する学童クラブを補完する事業の提案が充実しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランドセル預かり事業を実施する。登館時間や帰宅時間を児童自身で把握して行動することで児童の自立を促していく。</li> <li>・ランドセル預かりの保護者会を設けて児童館での様子を伝え、児童の自立を保護者とも確認していく。</li> <li>・新小学4年生について、春休みは学童クラブで食べていた昼食を自身で食べることとなることから、児童館にて昼食場所を提供する。</li> </ul>
2 効率的・効果的な施設の運営	
(1) 施設の設置目的を踏まえた管理・運営方針となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の意見尊重、最善の利益を優先する。</li> <li>・国籍、性、障害の有無等に関わらず、利用者自身が選んで来館できる施設として、来館したくなる環境を整える。</li> <li>・児童館職員が積極的に地域に出ていくことで地域をつなぎ、子育ての孤立を防ぎ、課題のある家庭の支援を行う。</li> </ul>
(2) 施設の維持管理経費を節減するための積極的な取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費について月々の費用を比較し、エコマネージャーを中心に原因を探り改善する。</li> </ul>
(3) 提案額は、事業計画を実現するための適正な額となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理料(提案額): 83,290,280円</li> </ul>
(4) 区民の雇用や区内企業の活用を図る取組があるか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・館内清掃・消毒業務委託、水回り・防災設備の保守点検等について区内企業を活用する。</li> <li>・書籍、遊具等の購入について区内企業を活用する。</li> <li>・子育て講座講師について、区内企業等に依頼する。</li> </ul>
(5) 利用者の増加策や施設稼働率(利用率)向上への取組は効果的か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館事業を地域に周知するため、毎月1回程度日曜日に移動児童館を実施する他、地域団体である中川つくし会と共催し、あおぞら児童館、えんにちひろばを実施(各年1回)する。</li> <li>・他館との合同行事を実施し、交流を通して中川児童館を知ってもらう機会を創出する。</li> </ul>
(6) 地域住民や保護者との交流・連携を促進する取組の内容は充実しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域組織「中川つくし会」の事務局として活動し、多世代交流、連携を促進する。</li> <li>・墨田区社会福祉協議会や高齢者見守り相談室と共催で、月1回程度、地域の高齢者と乳幼児親子の交流の場「ふれあいサロン」を開催し世代間交流</li> </ul>

項目	社会福祉法人厚生館
	を図る。
3 事業計画の遂行能力	
(1) 経営状況及び財政基盤は安定しているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス活動収益 令和4年：1,098,672千円、令和3年：1,091,499千円</li> <li>・サービス活動増減差額 令和4年：81,412千円、令和3年：56,704千円</li> <li>・経常増減差額 令和4年：83,030千円、令和3年：58,456千円</li> <li>・流動比率 令和4年：690.6%、令和3年：664.6%</li> <li>・固定長期適合率 令和4年：85.3%、令和3年：85.4%</li> <li>・自己資本比率 令和4年：90.9%、令和3年：89.9%</li> </ul>
(2) 職員構成、職員数及び組織の管理・運営体制は適切か	<p>常勤10名、非常勤等職員5名</p> <p>常勤：館長1名、利用者支援員（主任）1名、児童館担当4名、学童クラブ責任者1名、学童クラブ担当3名</p>
(3) 管理責任者及び職員の資格や経験は適切であり、職員のスキルアップに向けた取組は十分か	<p>【館長候補者】経験年数 19年</p> <p>【職員研修等】施設内研修 年4回程度実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設外研修 都主催研修、子育てひろば研修、墨田区館長研究会等に参加する。</li> <li>・法人研修 管理職研修、年長児担当職員・学童クラブ職員研修</li> </ul>
(4) 個人情報保護の徹底及び積極的な情報公開を行う計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員（成人のボランティア含む）と個人情報保護誓約書を取り交わす。</li> <li>・個人情報が入った外部メモリーはインターネットに繋げていない機器での接続に限る。</li> <li>・利用者が撮影した行事等の記録についてSNSへのアップを禁止する。</li> <li>・情報公開請求について、法人の定める情報公開開示規則に則り開示する。</li> </ul>
(5) 災害その他緊急時の危機管理体制及び苦情処理体制は明確か	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間3回以上の不審者訓練を実施する。さすまた等の使用方法は向島警察から指導を受ける。</li> <li>・自衛消防隊編成表を作成し、自衛消防訓練を行う。訓練では出火場所、規模、避難ルート、地震の大きさ等、様々なケースを想定する。また、災害発生時は自衛消防隊編成表により行動する。</li> <li>・常勤職員は全員普通救命講習を受講する。また、厚生館保育園の看護師から対応方法を学ぶ。</li> <li>・アレルギー対応として、館内でエピペン講習を実施する他、外部研修にも参加する。</li> <li>・法人の母子生活支援施設や保育園と協力、応援体制を構築している。</li> <li>・館内受付、及び学童クラブ室入口に苦情対応窓口（担当者名、連絡先）を掲示する。</li> </ul>
(6) 同種事業に関する本区での実績の有無、他の自治体での実績の有無	<p>《墨田区》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中川児童館（4期目）</li> </ul>